

第14週(3月30日～4月5日)の集計結果

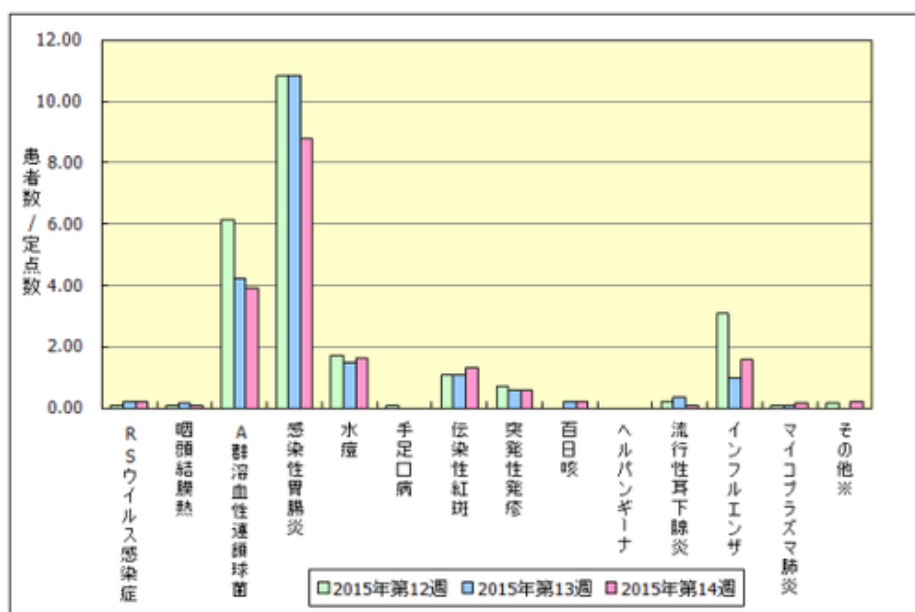
コメント

【今週の傾向】

○感染性胃腸炎は、定点あたり8.8人と減少していますが、新学期が始まると感染が広がりやすくなります。今後もこまめな手洗いと、嘔吐物やふん便は次亜塩素酸ナトリウムを使用して、適切に処理しましょう。

○インフルエンザは、小児科定点あたり1.6人となっています。

内訳 A型 9名・B型 11名



※…不明発疹症、MCLS(川崎病)

第14週疾患毎発生状況グラフ

	2015年第9週	2015年第10週	2015年第11週	2015年第12週	2015年第13週	2015年第14週	第1週からの合計
RSウイルス感染症	3 ↓	4 ↑	3 ↓	1 ↓	3 ↑	3 →	104
咽頭結膜熱	3 →	0 ↓	0 →	1 ↑	2 ↑	1 ↓	33
A群溶血性連鎖球菌	69 ↓	53 ↓	69 ↑	86 ↑	59 ↓	55 ↓	852
感染性胃腸炎	178 ↓	171 ↓	198 ↑	152 ↓	152 →	123 ↓	2344
水痘	13 ↑	6 ↓	11 ↑	24 ↑	21 ↓	23 ↑	179
手足口病	0 ↓	1 ↑	0 ↓	1 ↑	0 ↓	0 →	16
伝染性紅斑	15 ↑	14 ↓	14 →	15 ↑	15 →	18 ↑	198
突発性発疹	10 ↑	7 ↓	10 ↑	10 →	8 ↓	8 →	82
百日咳	0 ↓	0 →	2 ↑	0 ↓	3 ↑	3 →	15
ヘルパンギーナ	0 →	0 →	0 →	0 →	0 →	0 →	2
流行性耳下腺炎	10 →	10 →	5 ↓	3 ↓	5 ↑	1 ↓	101
インフルエンザ	134 ↓	122 ↓	66 ↓	43 ↓	14 ↓	22 ↑	3442
マイコプラズマ肺炎	0 →	2 ↑	0 ↓	1 ↑	1 →	2 ↑	10
その他※	4 ↑	0 ↓	3 ↑	2 ↓	0 ↓	3 ↑	23

※…不明発疹症、MCLS(川崎病)

第14週疾患毎発生状況表

第14週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	マイコプラズマ肺炎	その他※
～5ヶ月	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～11ヶ月	3	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1歳	0	0	0	16	1	0	2	6	0	0	0	3	0	0
2歳	0	0	1	14	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
3歳	0	0	1	16	1	0	2	1	0	0	0	1	1	0
4歳	0	1	5	14	8	0	3	0	0	0	0	2	0	1
5歳	0	0	11	16	6	0	7	0	0	0	1	2	0	0
6歳	0	0	8	9	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0
7歳	0	0	6	7	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0
8歳	0	0	12	6	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2
9歳	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
10～14歳	0	0	6	9	2	0	1	0	0	0	0	3	0	0
10～12歳												3		
13～14歳												0		
15～19歳	0	0	1	3	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0
20歳以上	0	0	1	5	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0
合計	3	1	55	123	23	0	18	8	3	0	1	22	2	3

※・・・不明発疹症、MCLS(川崎病)

第14週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- ・ 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- ・ 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- ・ 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- ・ みなみ野
由井事務所